

創域会 2009 年度活動予定

物質系専攻 篠原佑也

創域会会員のみなさま、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。昨年度より創域会の会長をしております篠原佑也と申します（基盤系物質系専攻 2003 年度進学）。これまでの創域会の活動は、年に 1 回、柏キャンパス一般公開にあわせて実施している創域会大会に限られておりました。しかし研究科も設立以来既に 10 年過ぎ卒業生の人数もかなり増えてきており、また皆様のメールアドレスなどの情報も整備されてきているので、これから徐々に活動内容を充実していこうとしているところです。

当面の活動内容としては卒業生と現役の学生、さらに教職員が相互交流できる場を設けることだと考えておまして、具体的には以下の内容を考えております。

1. 毎年 5 月に開催される新領域 BBQ への卒業生参加呼びかけ（将来的には創域会としても何か実施する？）
2. 毎年 10 月下旬に開催される柏キャンパス一般公開にあわせた創域会大会の実施
3. 年明けに社会でご活躍されている卒業生の方にセミナーをしてもらい、現役生と卒業生との交流の場とする（現在研究科で行われている学融合セミナーの卒業生版？）

また、これらのイベントに合わせて今回のような形でのメールマガジンの発行を予定しております。今回に関しては既に BBQ 大会の日時は過ぎてしまっておりますが（さらに既にご連絡の通り BBQ 大会は強風のため中止となりました）、昨年度をもちまして本研究科をご退職された和田仁先生（物質系専攻）と今年度より河野先生に代わって副会長に就いて頂いた岡本孝司先生に一言ずつご執筆頂いております。今後、卒業生の皆様も積極的に近況報告などこの場を通じてしていただければと思います。またメーリングリストも稼働しておりますので、積極的なご投稿をお待ちしております。

今年度の柏キャンパス一般公開は 10 月 30 日（金）、31 日（土）に開催され、創域会大会は 31 日夕方に実施予定です。みなさま万障繰り合わせの上出席して頂き、旧交を温めると共に現役生との積極的な交流の場として頂ければ大変嬉しく思います。

当面は上記の形での活動をしていきますが、創域会会員の皆様から活動内容に関しての積極的なご意見お待ちしております。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

柏の葉キャンパスに託す夢

皆さんお元気ですか？3月まで物質系専攻でお世話になった和田 仁です。現在は、つくばの（独）物質・材料研究機構で研究生生活を続けています。

送別会で申しましたように、超伝導の応用研究を展開したいと願う私にとって、新領域創成科学研究科は極めて心地よい場でした。とくに、ヒトの科学的理解にも繋がる先端的なMRIの実現に挑んだとき、学融合を基本コンセプトとする新領域に所属できたことは、非常に幸運でした。

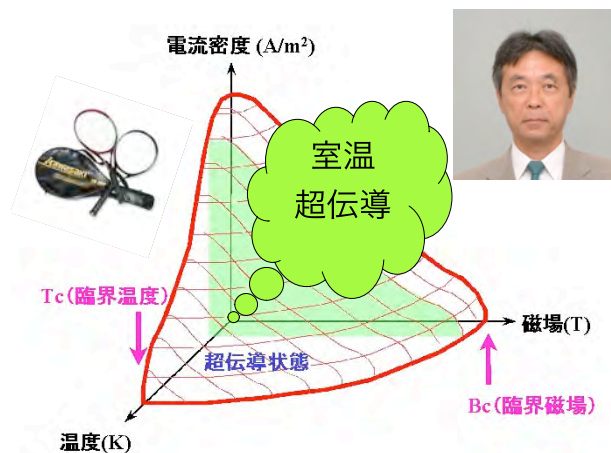
このように幸せな時期を過ごすことのできた柏の葉キャンパスには、当然ですが今後益々の発展を願っています。以下に私の期待を述べ、心からのエールを送ります。

まず、開放的でスッカリとしたキャンパスのたたずまいに、進行中の環境整備によってある種の優しさが加われば、大学院大学にふさわしい風景が生まれ、少なくとも視覚的、機能的に魅力的な“知の拠点”としての要件が満たされることでしょう。次は内容です。私は、知の拠点の本質は、まさに新領域のコンセプト“融合”によって達成されると信じています。この研究科は東京大学全部局の協力によって誕生したことから、様々な分野の職員が集まっています。また、他大学出身院生の比率が大きいことも特徴です。つまり、人間構成が多様性に富んでいます。

この多様さを力に変えることはできないでしょうか？私は嘗て米国に遊んだとき、あらゆるレベルにおける多様さに驚き、これぞ人類が企てた壮大な実験であると思いました。異質なものを受け入れるために思考が合理的になり、タブーは解き放たれ、社会は柔軟になっていると感じました。彼等は多様性が彼等の強みであると主張します。柏の葉キャンパスでも、多様な価値観を持つ新領域の職員と院生が核となり、開かれた形の自己主張を行うことによって、他のキャンパスにはない新たなカルチャーを創成できる可能性があります。その結果として、真に魅力的な活力溢れる“知の拠点”へ進化できれば、素晴らしい実験成果です。そのような場からは真の国際人たる若者が育つに違いありません。さしあたり、駒場祭、五月祭とはひと味、ふた味違う、柏の葉祭などを打ち上げては？

学術分野に関するパラダイムシフトはとっくの昔に起こっており、むしろ現実がそれに追従できていないと見ることもできます。新領域のコンセプトはもはや default であると言えるでしょう。新領域は新しいパラダイムにおいて先頭に立つべき研究科として学融合をもっともっと推進し、新領域ならではの教育、研究を実現してください。

柏の葉キャンパスに対する現在の心境は、最終講義で触れた同世代のシンガーソングライターの曲にある“・・・呼び戻すことができるなら僕は何を惜しむだろう・・・”というところでしょうか。皆さんの健闘を祈ります。（2009年5月 つくばにて）



創域会副会長就任のご挨拶

人間環境学専攻 岡本孝司

4月より河野先生の後を引き継ぎまして、研究教育改善室長及び創域会の副会長をおおせつかりました、人間環境学専攻の岡本です。

先日、駒場の教養学部で一緒に学んだ、理科一類20組の同窓会がありました。入学以来30年目という事でしたが、皆、昔の面影を少しずつ残しているとともに、世界中で活躍していました。テレビ番組製作会社の社長から、大地主、人事部長など大変幅広く、いわゆる経験の融合によって、面白いプロジェクトが生まれるのではないかなどと強く思えます。始まりは単に駒場の2年間一緒であっただけなのですが、時が経つにつれて、改めて同窓会の重要性を認識することができます。

さて、新領域は出来てからまだ10年、柏に全専攻が移ってから3年の大変に若い研究科です。しかし、既に多数の卒業生を輩出するとともに、卒業生の皆さんは世界各地で大活躍をされています。単純に出身が同じ研究科というつながりだけではなく、最近のOBは柏と言う、全く新しいキャンパスの出身ということです。柏出身者はまだまだ少数派ですが、少数派ということは決してデメリットではありません。新領域ネットワークをより強固にすることで、新しい流れを作る事が出来る事を意味します。また、新しいということは、現メンバーがコアであるということです。

創域会では、より活動を活性化し、メンバーの皆様や現役学生の皆様にも、大きなメリットを感じていただきたいと思っています。年に何回か、いろいろな交流を通じて、ネットワークの充実に努めていきたいと考えておりますので、皆様からも積極的な参加をお願いできればと思います。

是非、創域会を、よろしくご挨拶致します。